

# 日本建築学会北海道支部 2010 年度第 3 回常議員会議事録

記録：岡本

日時：平成 22 年 12 月 13 日（月）18:30～19:40

場所：北海道建設会館ビル 支部事務所会議室

出席：支部長：角

常議員：大柳 谷口 那須 稲川 岡本 本井 山本 横山 真境名

代議員：絵内 駒木

総務委員会委員長：菊地（優）

事務局：菊地

## 議題・配付資料

|                                                     |         |
|-----------------------------------------------------|---------|
| 前回（2010 年度第 2 回常議員会）議事録(案)                          | 資料 3-1  |
| 支部長会議報告                                             | 資料 3-2  |
| 支部経理報告                                              | 資料 3-3  |
| 2010 年度建築文化週間実施報告                                   | 資料 3-4  |
| 北方系住宅専門委員会主催見学会について（報告）                             | 資料 3-5  |
| 環境工学専門委員会主催論文発表会について                                | 資料 3-6  |
| 後援依頼について                                            | 回覧資料    |
| （社）コンクリート工学協会北海道支部より<br>「混和材料の最新技術に関する調査研究委員会活動報告会」 |         |
| 2011 年度特定課題研究および建築文化週間について                          | 資料 3-7  |
| 2011 年度事業計画案について                                    | 資料 3-8  |
| 2011 年度支部予算案について                                    | 資料 3-9  |
| 次期支部役員候補者について                                       | 資料 3-10 |
| 北海道支部技術賞の募集について                                     | 資料 3-11 |
| 来年度の総会日程について                                        |         |
| そのほか                                                |         |

司会：谷口

## 議事内容

- 1 前回（2010 年度第 2 回常議員会）議事録（案）の確認（本井 / 資料 3-1）
  - ・ 出席者に総務委員会委員長：菊地（優）を追記
  - ・ 議事録確認者を森上記 2 点の修正確認し、承認・確定された。
- 2 支部長会議報告（角 / 資料 3-2）
  - ・ 臨時の支部長会議が 12 月 1 日に開催された。
  - ・ 各支部における代議員定数に関する議論の経過について  
案として関東支部を 50 名にすると想定しても、監督官庁に明確な説明が難しい  
会誌送本先が海外になっている会員は関東支部に加えたため実際より膨らむ  
代議員は支部の代表ではなく、個人の立場であることを確認した  
支部から 1 人になってしまうのは避け、最低 2 人にするなどが検討されている  
北陸は 5 支所に分けているため、4 人では辻褄が合わなくなるとの意見があった  
ひとまずは原案通り進め、詳細については細則で定める手筈が予定されている  
状況に応じて随時修正を加えることを想定し日程案に申請時期は明記されていない  
北海道の会員数は、正会員 865 名、準会員 10 名である

- ・ 建築物の保存活用する戦略的タスクフォースに関する動きについて  
直近では、旧三井鉱山の**カン**山の保存要望書を出す動きがあった  
保存要望書には手続き期間の関係上、会長名、支部長名、専門委員長名の3種がある  
北海道の場合は実務者が協力・参画しているため、歴史意匠の有志が提出元となっている  
戦略的タスクフォースの今年度まとめとしては、建築物について保存対象となる“可能性”  
と“選定”の2側面に取り組んで行く必要があると結論づけた
- ・ 建築会館のテナント状況について  
竣工当初からあった New Tokyo がテナントから抜けた  
長く入ってもらっていたので、テナント料を段階的に割り引いてきていた  
新しいテナントが入ったが、テナント料は周辺よりもかなり高い設定である  
新しいテナントは建設会館のステイタスで入ってくれたが先はわからない  
一方で、移転や建替え、大規模改修などの議論が出てきている

### 3 支部経理報告

(菊地(優)/資料3-3)

- ・ 11月の状況が前日に整理されたため、10月分のみが報告された。  
事業収入は建築作品発表会の参加費である  
他会計から繰入金収入は、本部からの家賃補填である  
管理費支出はこれまで通りである  
建築作品発表会に伴う支出は11月に反映される

### 4 2010年度建築文化週間実施報告

(谷口/資料3-4)

- ・ 下記3点のテーマを実施した結果の概要が報告がされた。  
みんなで始める地震防災対策  
歴史的建造物の見学「建築散歩～厚岸編」  
第35回北海道建築賞(2010年度)表彰式・記念講演会

### 5 北方系住宅専門委員会主催見学会について(報告)

(谷口/資料3-5)

- ・ 次のテーマで実施した結果の概要が報告された。  
これからの住まいと暮らしを考える「住まい・暮らし見学リレー4」

### 6 環境工学専門委員会主催論文発表会について

(谷口/資料3-6)

- ・ 環境工学専門委員会から次の申請があり承認された。  
第5回 環境工学系・卒業論文発表会(EGGs'10)  
2011年3月10日(木)10時～18時  
・ 上記のポスターコンペティション締切が12月13日(本日)であった。

### 7 講演依頼について

(谷口・角/回覧資料)

- ・ 以下1件に依頼について報告があり承認された。  
(社)コンクリート工学協会北海道支部より  
「混和材料の最新技術に関する調査研究委員会活動報告会」
- ・ 追加として以下1件の企画予定が案内された。  
ティンバライズ建築展  
今年度、スパイラルならびに静岡、名古屋で開催された木造建築模型展である  
来年度、7月に北海道工業大学で開催予定である  
後援予定は、北海道、札幌市、日本建築学会北海道支部、JIA等建築関連団体である  
開催費用総額400万円予定であり、75万円は道工大が負担、ほかは今後募る

## 8 2011 年度特定課題研究および建築文化週間について

(谷口 / 資料 3-7)

- ・ 特定課題研究は 2 テーマ申請されていることが確認された。
  - 寒中コンクリート施工計画立案の合理化を目指した施工実態調査 (材料施工専門委員会)  
本部助成の 20 万円を申請
  - 三角屋根コンクリートブロック住宅の持続可能居住について (北方系住宅専門委員会)  
支部助成の 9 万円を申請
- ・ 建築文化週間事業企画は 2 テーマ申請されていることが確認された。
  - 地震防災体験学習...親子で始める地震防災対策... (都市防災専門委員会)  
予算要望額は 156,000 円
  - 歴史的建造物の見学「建築散歩～小樽・積丹編」  
予算要望額は 120,000 円

## 9 2011 年度事業計画案について

(谷口 / 資料 3-8)

- ・ 標記について説明があり、承認された。
  - 支部研究発表会の日程が 2011 年 7 月 2 日 (土) であることを再確認

## 10 2011 年度支部予算案について

(菊地(優) / 資料 3-9)

- ・ 標記について説明があり、承認された。
  - 特定資産運用収入は利息であり、2009 年ベースの計算による
  - 事業収入の研究集会事業収入は昨年同額である
  - 受託事業収入は建設業協会からの 3 万円が減額となっている
  - 他会計からの繰入金収入のうち、支部費収入は個人会員の会費にあたる
  - 同上、経営助成費収入は法人会員の会費にあたる
  - 同上、支部研究補助費収入は特定課題研究の寒中コンクリート...に充てる
  - 研究集会事業費支出は収入と同額に設定した
  - 文化事業・展示会費支出の建築文化週間は歴史 10 万、防災 12 万、建築賞 8 万の合計
  - 表彰・顕彰事業費支出の北海道建築賞は 62.5 万の申請であるが 8 万を上記建築賞に充て、2 万は減額とした
  - 給与手当支出は 5 年間据え置きであったため、5 万円を増額した
  - 通信費から雑費までは 2009 年実績ベースで修正を加えたが総額に変化はない
  - 以上から 2011 から 2012 に繰り越すのは 40 万円となった

## 11 次期支部役員候補者について

(谷口・角 / 資料 3-10)

- ・ 標記について説明があり、承認された。
  - 表記の候補者には内諾済
  - 代議員の投票締切：2011 年 3 月 3 日
  - 常議員の投票締切：2011 年 4 月 8 日

## 12 北海道支部技術賞の募集について

(谷口 / 資料 3-11)

- ・ 標記について説明があり、周知の依頼があった。
  - 会員増強につなげるものとして認識されたい
  - 手法・プロセスとも表記しておりコンサルタントなどにも授賞の可能性はある
  - 支部発表が義務づけたが C 原稿で充分であるし、発表の仕方もそれぞれで構わない
  - 「概ね 5 年以内」については拡大解釈も可能
  - 各専門委員会で積極的に発掘してほしい 2010 年 12 月 15 日～2011 年 1 月 15 日が応募期間
  - 昨年も集まりが悪く募集期間を延長した。結果、4 件応募 3 件受賞となった

### 13 来年度の総会の日程について

(角)

- ・ 標記について説明があり、5月13日(金)に決定した。  
近年の実施状況を勘案し、総会 15:00～表彰式 16:30～懇親会 17:30～とする。
- ・ 会場は未定、決まり次第事務局より連絡される。

### 14 そのほか

- ・ AIJ-JIAのジョイントセミナーについて (菊地(優))  
2月9 or 10日に星野前支部長がJIAに出向いて講演される  
参加者のほとんどがJIAの方なので、AIJの方も参加いただきたい
- ・ 次回常任幹事会 : 2010年3月17日(水) 17:30～
- ・ 次回常議員会 : 2010年3月17日(水) 18:30～

以上